

がんについて知ってほしいこと
～5つのワークショップ～



がん検診について



がん検診は、お財布にもカラダにもお得です！！

検診は、治療ではないので、健康保険が使えません。通常は以下のとおり全額自己負担となります。

検診名	医療機関で実施した時の一人あたりの検査費用
胃がん (内視鏡)	15,476円
肺がん	5,313円
大腸がん	4,212円
子宮がん	8,002円
乳がん (マンモグラフィ)	5,810円

堺市の
制度を
使うと！

受診者の
自己負担金

1,000円

200円

300円

500円

900円

残りの
検査費用は
堺市が負担

また、65歳以上（胃、子宮、乳は66歳以上）であれば

無料



胃がん検診

対象者：満50歳以上の偶数年齢の堺市民

受診したい場所を選択

○検診車：保健センター、地域会館で実施



- 予約方法 保健センターへ電話などで申し込み
- 検査内容 問診、胃部エックス線間接撮影
- 自己負担金 500円（66歳以上、市民税非課税世帯等の方は無料）



○医療機関：お近くの医療機関で実施



- 予約方法 医療機関へ電話などで申し込み
- 検査内容 問診、胃部エックス線直接撮影または、胃内視鏡検査（選択制）
- 自己負担金 1,000円（66歳以上、市民税非課税世帯等の方は無料）

平成28年
10月から新たに
開始！！



検査前日の食事は、午後10時までに済ませてください。
検査当日は、起床時より食事・水・薬（血圧を下げる薬を除く）・その他の飲料・物を取らないでください。



肺がん検診

対象者：満40歳以上の堺市民

受診したい場所を選択

○検診車：保健センター、地域会館で実施



- 予約方法 予約不要（直接会場へ）
- 検査内容 問診、胸部エックス線直接撮影、たんの検査（※1）
- 自己負担金 無料（たんの検査は400円必要（65歳以上、市民税課税世帯等の方は無料））

○医療機関：お近くの医療機関で実施



- 予約方法 医療機関へ電話などで申し込み
- 検査内容 問診、胸部エックス線直接撮影、たんの検査（※1）
- 自己負担金 200円（たんの検査は400円必要（65歳以上、市民税課税世帯等の方は無料））

平成28年
10月から
新たに開
始！！

※1 たんの検査の対象者（①又は②に該当する方）は予約が必要です。
 ①喫煙指数（1日に吸うたばこの本数×喫煙年数）＝400以上の方
 ②6か月以内に血の混じった「たん」が出た方



大腸がん検診

対象者：満40歳以上の堺市民

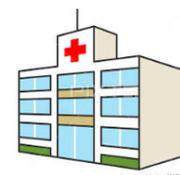
平成28年
10月から新たに開始！！

受診したい場所を選択

○保健センター、地域会館で実施

- 予約方法 保健センターへ電話などで申し込み（胃がん検診と同時に実施）
- 検査内容 問診、便潜血検査（2日法）
- 自己負担金 300円（65歳以上、市民税非課税世帯等の方は無料）

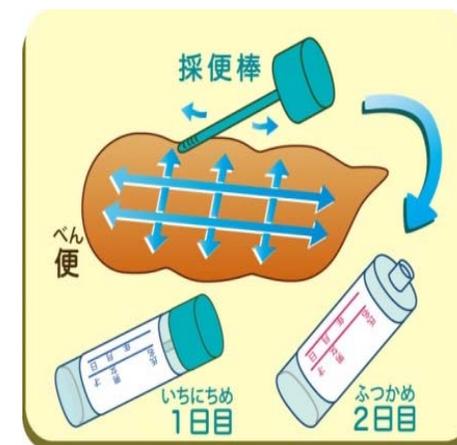
○医療機関：お近くの医療機関で実施

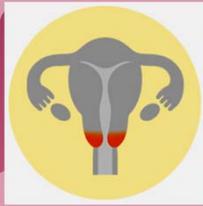


- 予約方法 医療機関へ電話などで申し込み
- 検査内容 問診、便潜血検査（2日法）
- 自己負担金 300円（65歳以上、市民税非課税世帯等の方は無料）

<受診の流れ>

- 1 採便キットを、受診する医療機関もしくは保健センターから受け取る
- 2 採便キットを用いて、2日分の便を採取する。
- 3 採便後の採便キットを受診日に提出する。

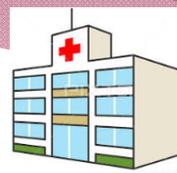




子宮がん検診

対象者：満20歳以上の偶数年齢の女性の堺市民

○医療機関：お近くの医療機関で実施



- 予約方法 医療機関へ電話などで申し込み
- 検査内容 問診、視診、内診、子宮頸部の細胞診、子宮体部の細胞診（必要な方のみ）
- 自己負担金 500円（66歳以上、市民税非課税世帯等の方は無料）



乳がん検診

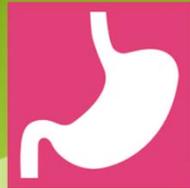
対象者：満30～39歳の女性の堺市民
満40歳以上の偶数年齢の女性の堺市民

○医療機関：お近くの医療機関で実施



- 予約方法 医療機関へ電話などで申し込み
- 検査内容・自己負担金
 - 満30～39歳：問診、視診・触診 400円（市民税非課税世帯等の方は無料）
 - 満40歳以上の偶数年齢：問診、視診・触診、マンモグラフィ 900円（66歳以上、市民税非課税世帯等の方は無料）

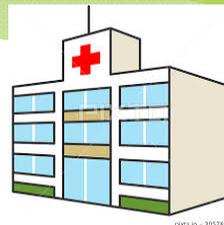
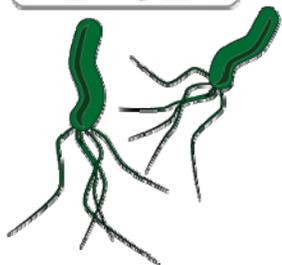




胃がんリスク検査

対象者：満40歳以上49歳以下の堺市民

ピロリ菌



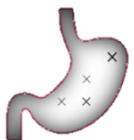
○医療機関：お近くの医療機関で実施

- 予約方法 医療機関へ電話などで申し込み
- 検査内容 問診、血液検査（ヘリコバクター・ピロリ、ペプシノゲン）
- 自己負担金 1,000円（市民税非課税世帯等の方は無料）

平成28年
10月から新たに開始！！

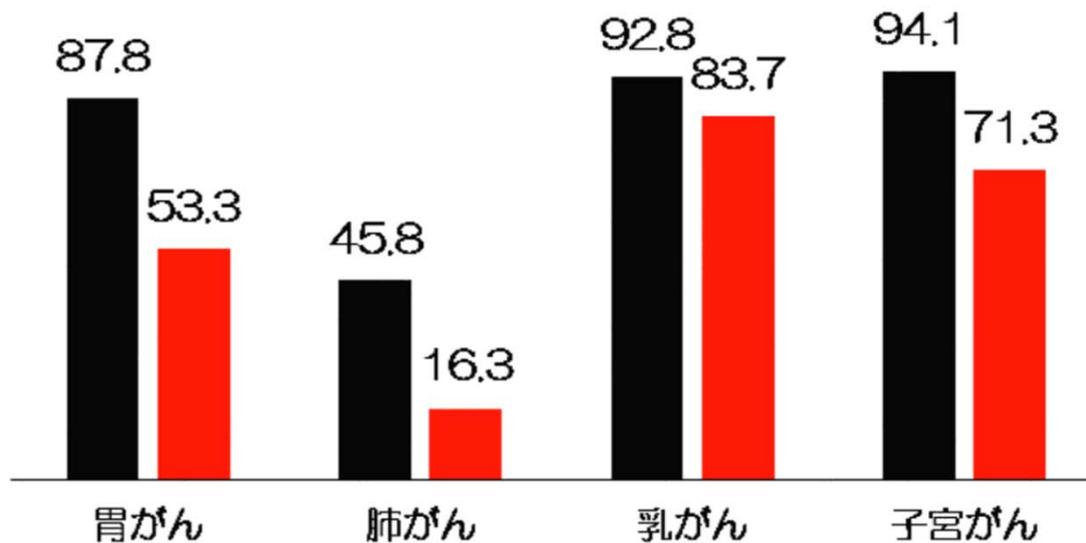
胃がんリスク検査は、ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査により、**胃がんなりやすいかのリスクを調べる検査**です。

「がんを見つける検査」ではありません。

	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン (PG)	陰性 (-)	陰性 (-)	陽性 (+)	陽性 (+)
ピロリ菌 (HP)	陰性 (-)	陽性 (+)	陽性 (+)	陰性 (-)
胃の状態	正常な胃 	正常な胃にピロリ菌が感染している 	胃粘膜の炎症をおこし少しずつ胃が萎縮する 	胃粘膜の萎縮が進みピロリ菌が胃に棲息できなくなる 
胃がんの発生危険度	胃がん発生のリスクは低い状態です。※(注)1	胃がん発生のリスクはやや高い状態です。	胃がん発生のリスクは高い状態です。	胃がん発生のリスクは非常に高くなっています。
				
	低い			高い

がんは2人に1人がなる病気です。 定期的に、がん検診を受けましょう！！

- 検診でがんが見つかった場合の5年相対生存率
- 検診以外でがんが見つかった場合の5年相対生存率



部位、発見経緯別 がん罹患者の5年相対生存率 (単位：%)
(出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 '05」)

がん検診を受診してがんが見つかった人の方が、**5年後の生存率が高くなっています。**

詳しくは、検診
コーナーへ

大腸がん検査キット
の使い方、バリウム・発泡剤もあります。